



市内の気になる話題をご紹介します。

## 11/20 下呂温泉の新名物 "素肌美人スイーツ" が販売開始!

下呂温泉観光協会などで組織している下呂市DMO委員会が観光客に食べ歩きを楽しんでもらうため、地元のみそを使ったスイーツを創作しました。

同委員会の素肌美人プロジェクトの取り組みで、地産地消をテーマに開発。

水明館、ゆあみ屋、ホテルパストール、幸月本家の4店で味わうことができます。



味の決め手となる「みそソース」の使用と容器、スプーンは統一し、その他はそれぞれの店で趣向を凝らし、種類が違うスイーツを提供＝幸田、水明館

## 11/27 獅子笛と和太鼓に合わせ 伝統芸能を披露

獅子芝居の保存や振興、後継者の育成を目的に、「第16回岐阜県獅子芝居公演」が実行委員会と岐阜県獅子芝居協議会の主催により開催されました。

魅力を広めようと、岐阜県内の5つの獅子芝居保存団体が公演。堂々とした演技で集まった多くの観客を魅了し、会場からは大きな拍手が送られました。(表紙記事)



躍動感あふれる演技を披露する小坂町の津島神社金蔵獅子保存会＝萩原町萩原、星雲会館

## 11/27 声援を力に優勝目指し、健脚を競い合う!

下呂市体育協会主催の「第62回益田駅伝大会・第43回下呂市ジュニア駅伝大会」が、開催されました。一般男子、女子、中学男子、女子の4部門で両大会合わせて36チームが参加。羽根中央公民館前を出発点に男子は6区間18キロ、女子は5区間12キロで力走を繰り広げました。沿道からは温かい声援が送られ、選手たちは懸命にたすきをつなぎました。



スタートの合図とともに元気よく駆け出す選手たち＝萩原町羽根、羽根中央公民館前

## 12/9 食中毒・感染症予防は手洗いが大切

下呂市食品衛生協会が、上原小学校で手洗いマイスターによる手洗い講習会を開催しました。

ノロウイルスなどによる食中毒の予防には手洗いがとても重要で、同協会では正しい手洗いの普及を進めています。手洗い指導を学んだ児童らは「ちゃんとしたつもりでも意外と汚れが落ちていないことが分かった」「今日から家に帰ったらしっかり洗いたい」と感想を述べました。



協会員が見守る中、手洗いをしてから洗えていない部分が光る機械に手を差し出し、きれいになったかどうかを確認する児童ら＝夏焼、上原小学校